

近世後期におけるオランダ船の脇荷物輸入について
— 文政9年（1826）を事例として —

石田 千尋

「鶴見大学紀要」第49号 第4部

人文・社会・自然科学編（平成24年3月）別刷

近世後期におけるオランダ船の脇荷物輸入について

— 文政9年（1826）を事例として —

石田 千尋

はじめに

近世の日蘭貿易は、大きく分けて二つの取引がおこなわれていた。一つは本方貿易と称し、オランダ東インド会社の会計に属する商品群の取引であり、東インド会社にとって直接損益にかかわるものであった。もう一つは脇荷貿易と称し、オランダ商館長以下の館員や船員の役得として一定額だけ許された私貿易品の取引であった。なお、オランダ東インド会社は1799年に崩壊し、その後、日本との貿易はバタヴィアの東インド政庁の管理下に入り、長崎商館（出島）はこの政庁の商館になるが、長崎商館での本方貿易・脇荷貿易は以前同様につづけられた。

オランダ船が持ち渡った積荷物には、①本方荷物～本方貿易で取引される商品、②脇荷物～脇荷貿易で取引される商品、③詔物～将軍をはじめとする幕府高官・長崎地役人等によってオランダ船に注文されたものの持ち渡り品、④献上・進物品～オランダ人が貿易取引を許されている御礼として江戸参府の際に贈る品（将軍へは献上品、幕府高官へは進物品と称した）、その他、⑤遣捨品～オランダ人が長崎商館で使用する日用品などが存在した。

筆者は先に『日蘭貿易の史的研究』（吉川弘文館、平成16年）・『日蘭貿易の構造と展開』（吉川弘文館、平成21年）を著した。この二著においては、考察年代を近世後期、主として19世紀前半におき、前者では主に①本方荷物を、後著では主に③詔物の解明につとめたが、②脇荷物に関しては、十分検討するまでにはいたっていない。

従来、脇荷貿易ならびに脇荷物に関しては、関山直太郎「看板（Kambang）貿易考」（『経済史研究』第13巻第6号、昭和10年）・永積洋子「オランダ商館の脇荷貿易について—商館長メイランの設立した個人貿易協会（1826—1830）—」（『日本歴史』第379号、昭和54年）・山脇悌二郎「脇荷貿易雑考」（箭内健次編『鎖国日本と国際交流』下巻、吉川弘文館、昭和63年）等を挙げることができる。しかし、日蘭両史料の詳細な照合の上に体系化し、貿易史上、文化史上における脇荷物の位置付けを実証的研究成果の上に進めていくこと

は今後の課題として残されている。

オランダ船が持ち渡った脇荷物は、上述したようにオランダ商館長以下の館員や船員の役得として一定額だけ許された私貿易品の取引であったが、山脇悌二郎氏によれば、日本側文献史料上、「脇荷物」という語の初見は延宝元年（1673）といわれる。しかし、脇荷貿易は、おそらくオランダ商館が平戸にあった時代から慣例的に認められていたと考えられ、日本側では、少なくとも寛文10年（1670）には公認され、オランダ側では、1667年（寛文7）には公認されていたという。^①

筆者は、先の拙著と同様、近世後期、主として19世紀前半の脇荷物を調査研究していきたいと考えている。しかし、脇荷物が基本的に私貿易品であることより、19世紀前半のオランダ側史料を散見するに、本方荷物や詔物に比べて史料が非常に少ないことに気づかされる。^② それに対して、日本側史料は本方荷物に比べて不十分ではあるが、体系的に整理していくことは可能と思われる。

また、この時期の脇荷物には、本方荷物にはみられないガラス器や陶器・磁器といった食器類、さらに薬品類が非常に多く、脇荷物の詳細な研究は文化史上重要な課題と考えられる。

以上のことより本稿は、脇荷貿易で取引された商品（脇荷物）に関して、オランダ側史料に残る数少ない脇荷物関係史料の内、1826年（文政9）を事例に、日本側史料と照合する形でその基礎的研究をおこなうものである。

第1章 文政9年の脇荷物輸入に関する史料

文政9年（1826）は、バタヴィアからオランダ船アレクサンデル号Alexanderとオンデルネーミング号Ondernemingが長崎港に入津し、新たにヘルマン・フェリックス・メイランG.F.Meijlanが長崎商館長に着任している。メイランは、1818年（文政元）の規程で定められた脇荷貿易の制限高（40000グルデン）が全く守られていない結果、日本市場にもバタヴィア市場にも商品（脇荷物）があふれ数々の弊害をもたらしていることを指摘している。しかし、脇荷貿易を全て禁止すると、これにより利益を得ている日本人だけでなく、

給料の不足分をもっぱらこの貿易にたよっているオランダ商館員からも反撥を招くとして、日本にいる館員の間で個人貿易協会を設立して一括運営をおこなうことを計画し、文政10年（1827）から同12年（1829）にかけて3年間実施した。結局オランダ商館内部の対立・抗争により個人貿易協会は廃止となり、1818年の規程に復することになるが、この間の顛末は、永積氏の論考に詳細に分析されている。⁽³⁾ 本稿で考察する文政9年（1826）は、まさにメイランが設立した個人貿易協会がおこなった脇荷貿易の前年に取引された事例ということになる。

以下、文政9年（1826）にオランダ船によって持ち渡られた脇荷物を解明しうる日蘭両史料について紹介していきたい。

「はじめに」で述べたように、脇荷物に関するオランダ側史料は非常に少ないが、1826年には脇荷物の輸入リストを含むAangebragte particuliere kambang goederen. Japan A^o 1826.（持ち渡られた私的カンバン荷物。日本、1826年）が残されている。⁽⁴⁾ なお、ここに記されているkambang goederen（カンバン荷物）は、この時期、脇荷物を指す用語である。本史料内には、Staat der aangebragte kambang goederen in den jare A^o 1826.（1826年に持ち渡られたカンバン荷物〔脇荷物〕のリスト）と共に、オランダ商館長以下、館員、船長、船員等それぞれ個人の脇荷リストと、そのリストからの「取り出し」を願う各個人のリスト⁽⁵⁾ が付されている。

上記のオランダ側史料に照合する日本側史料としては、管見の限り「戌紅毛船式艘分脇荷物〔葉種荒物集帳〕」（杏雨書屋所蔵村上家文書）を挙げることができる。本史料は、阿蘭陀通詞が作成した「積荷目録」（オランダ側が提出した送り状を翻訳したリスト）ではなく、商人（村上・上のや）が「葉種荒物」に限って商品別に部屋割りと数量（「除キ」数量も記す）、入札上位三番札までの価格と商人名を記録した取引史料である。したがって、「葉種荒物」に含まれない商品や取引に付されなかった品々が記載されていない点は注意しなければならない。

なお、当時、本方貿易が、オランダ船持ち渡りの商品を長崎会所が値組で一括購入し、その後、長崎会所で日本商人が入札するという取引であったのに対して、脇荷貿易は、オランダ人の商品を日本商人が直接入札する取引であった。「戌紅毛船式艘分脇荷物〔葉種荒物集帳〕」によると、文政9年の場合、10月2日から7日にかけて日本商人の入札がおこなわれている。

第2章 文政9年の脇荷物一覧表

第1章において紹介したオランダ側史料と日本側史料

を突き合わせて一覧表にしたものが表1である。

この表1では、各商品の品目はStaat der aangebragte kambang goederenに記されている順に並べ、便宜上、各品目に番号を付した。オランダ側商品名各単語の表記については、その頭文字は、基本的には小文字とし、地名・人名は大文字で記した。オランダ側商品名で用いられているdito, d^e, 々（＝同）、日本側商品名で用いられている「同」は、それに相当する単語を記した。数字は基本的に算用数字で記した。

また、オランダ側史料で記したHoeveelheid（数量）欄の《 》内は、オランダ人の各脇荷物からの「取り出し」希望数量である。この内、オランダ側史料Staat der aangebragte kambang goederenに'divers glaswerk 5 kistjes'（さまざまなガラス器 5箱）等まとめて記されている品目や、リストに記載されていないと思われる品の内、オランダ人側が「取り出し」を希望している品々と数量については、補注として表A～Gにその詳細を表記した。さらに、日本側史料で記した「数量」欄の《 》内は、「紅毛人」の「除キ」の数量であり、上記のオランダ人側で「取り出し」を希望した数量が、「除キ」としてどれだけ取り出されたかみることができる。

また、表1に記されている商館長、商館員等に関する詳細を、traktamentstaten「給与簿」記載の各人名の記録と照合する形で表2にまとめた。

第3章 文政9年の脇荷物

次に、日蘭両史料の照合によって得られた文政9年の脇荷物の日蘭商品名より、各商品が一体いかなる品物であったのか考察を加えておきたい。以下、商品番号は、表1に従って記したものであり、品目名は日本側商品名にオランダ側商品名を突き合わせる形で表記していく。

(1) (36) (65) (94) (97) (163) テリヤアカ、テリヤアカ ヘ子チャ → **theriac, Feneciaansche theriac, Veniciaansche theriac**

テリヤアカtheriacは、有毒動物に対して防禦・対抗する「解毒薬」という意味のギリシア語テリアケtherikeが語源といわれる。Feneciaansche, Veniciaanscheは、「ベネチア産の」の意。

テリヤアカtheriacaはさまざまな薬物を煉り合わせた内服薬。ローマのネロ帝時代にすでにあつたといわれる。その処方には古方、新方があるが、古方は60種以上の薬物からなっている。7世紀中期には中国、唐の本草書にも記され、百痛を治す極めて貴重な薬とされたという世界的名薬である。18世紀末から19世紀になるとテリヤアカは、アヘンを主薬とする6種程の薬物からなり、鎮痛・鎮痙薬となる。ここで輸入されている

テリヤアカは後者のものと考えられる。⁽⁶⁾

(2) (20) (25) (55) (87) (111) (117) (122) (128) (132) (135) (152) (160) (172) (175) (177) サフラン → **saffraan**

サフランsaffraanは、アヤメ科クロカス属の一種。花蕊の柱頭を乾燥し、健胃・鎮静剤とする。アルコールで浸出したサフラン・チンキは優れた発汗・解熱剤とされた。また、関節痛を和らげ、結腫を軟化し、内腫を消す効もあるので膏薬にも用いるとする所見もある。⁽⁷⁾

(3) (26) (56) (84) (115) (123) (130) (140) (159) (161) ヲクリカンキリ → **kreeftsoogen**

ヲクリカンキリkreeftsoogen (ラテン名: oclicancri) は、ザリガニの胃の中にできる結石。ただし、kreefts (cancri) は「ザリガニの」、oogen (ocli) は、「目玉」の意。制酸剤。小児の痢 (ひきつけ・驚風)・胃痛・止痢に効があるとされた。中国名螂蛄石 (らこせき)。⁽⁸⁾

(4) (95) (112) (143) (149) 屑珊瑚 → **bloedkoraal / gruis /, gruis bloedkoraal, takkoraal, takkoraal / ruwe /**

bloedkoraal のbloedは「血」、koraalは「珊瑚」。gruisは「砂利」。takkoraalのtakは「枝」、すなわち枝珊瑚。ruwelは「天然のままの」の意。珊瑚は主に女性の装飾品として珍重された。屑珊瑚と訳されていることより、細かい形状のものや、質の落ちるものであったと考えられる。⁽⁹⁾

(5) (28) (58) (80) (125) (136) (155) 痰切 → **drop**

乾燥した甘草の根を蒸留してとるエキス。すなわち甘草エキス。あめ玉状に固めて粒にしたもの。咳止め・去痰薬。⁽¹⁰⁾

(6) (22) (31) (60) (96) (118) (129) (144) (171) (173) 金唐皮 → **goudleer, goudleder**

金泥などで模様をおいた装飾皮で、壁紙や屏風・家具などに貼るためにヨーロッパで制作・使用された。日本に輸入されてからは、主に小さく裁断され、たばこ入れや巾着などの袋物に用いたり、小物に飾りとして貼ったりした。⁽¹¹⁾

(7) (8) — → **repetitie horlogies, repetitie gewone horlogies**

repetitieは「繰り返し」、gewoneは「普通の」horlogie (-s) は「(懐中) 時計」のこと。日本側の訳例としては「押打袂時計」「袂時計」などがある。⁽¹²⁾

(9) ホ、トル → **boter**

バター、乳酪。解毒剤、便秘薬。⁽¹³⁾

(10) ホルトカル油 → **zoeten olie**

zoetenは「甘みをつけた」、olieは「油」。オリーブ油。オリーブの木の熟果を搾ってとる油。アラビアゴム漿

(後述) に交えて融解し鎮痛・滑利剤とし、膏薬の基剤にもした。⁽¹⁴⁾

(11) ブラントウエン → **Franschen brandewijn**

Franschenは「フランス産の」、brandewijnは「ブランデー」のこと。フランス産のブランデー。

(12) テレメンテイン油 → **terpentijn olie**

マツ科の植物、特に松の木から採る含油樹脂 (松やに) を蒸留して得る揮発性油。硫黄の溶剤として皮膚病薬をつくるのに用いた。軟膏。⁽¹⁵⁾

(13) — → **vruchten op brandewijn**

vrucht (-en) は「果実」、brandewijnは「ブランデー」。ブランデー漬けの果実のこと。

(14) ゼ子フル → **jenever**

ジュネバ・ジン。

(15) — → **konfituren**

konfiturenは「果物の砂糖漬け」のこと。

(16) — → **likeuren**

likeur (-en) は「リキュール」のこと。日本側の訳例としては「銘酒」がある。⁽¹⁶⁾

(17) — → **bijouieren**

bijouierenは「宝石類、(貴金属製の) 装身具類」の意であるが、天保6年 (1835) の詠物の例では「細物類」と訳されており、この中には「pennemes 小刀」「muzijkdoos オルゴール箱」「brillen 鼻めかね」「snuifdozen 鼻たばこ入」などが含まれている。⁽¹⁷⁾

(18) — → **porselein**

porseleinは「磁器」のこと。日本側の訳例としては、「porseleine koelkom 焼物とんぶり」「porseleinen schotels 焼物鉢」などがある。⁽¹⁸⁾

(19) — → **blik**

blikは「ブリキ (板)」のこと。日本側の訳例としては「blikken veld flesschen フリツキ瓶」などがある。⁽¹⁹⁾

(21) — → **zilver horlogies**

zilverは「銀」の意、horlogie (-s) は上述。日本側の訳例としては「銀袂時計」「袂時計」などがある。⁽²⁰⁾

(23) (52) 白檀 → **sandelhout**

江戸時代の日本では薬用木。発汗・利尿の効があり、憂うつ症にも効く薬物。蒸留して檀香油を採り膏薬にも用いる。⁽²¹⁾

(24) (53) 藤 → **rotting**

rottingは籐づえ。籐 (藤) は、やし科の蔓性木本。マライ語でrotan。船綱に編み、モッコ (編目に編んだ担荷用の農具。鉦山で鉦石を担いだすにも用いた) などにもつくった。⁽²²⁾

(27) (57) (153) (162) 紺青 → **Berlijns blaauw, Berlijns blauw**

Berlijnsは「ベルリンの」、blaauw (blauw) は「青」。化学合成された青色顔料プルシアンブルー-Prussian

表1 文政9年(1826)オランダ船2艘(Alexander, Onderneming)脇荷物

| Staat der aangebragte kambang goederen | | | |
|--|----------------------------|--------------------------|--|
| Goederen | | Hoeveelheid | |
| Het Opperhoofd De Sturler | | | |
| (1) | theriac | 69 lb. | |
| (2) | saffraan | 177 lb. | |
| (3) | kreeftsoogen | 141 lb. | |
| (4) | takkoraal | 600 lb. | |
| (5) | drop | 358 lb. | |
| (6) | goudleer | 326 vellen | 《1° soort: 5 vellen》 《2° soort: 5 vellen》 |
| (7) | repetitie horlogies | 25 stuks | 《3》 |
| (8) | repetitie gewone horlogies | 61 stuks | 《1》 |
| (9) | [boter] | [25 vaatjes] | |
| (10) | [zoeten olie] | [80 flesschen] | |
| (11) | [Franschen brandewijn] | [38 flesschen] | |
| (12) | [terpentijn olie] | [12 kelder flesschen] | |
| (13) | [vruchten op brandewijn] | [20 flesschen] | |
| (14) | [jenever] | [5 kelders] | |
| (15) | [konfituren] | [1 kistje] | |
| (16) | [likeuren] | [1 kist] | |
| (17) | [bijouterien] | [eenige] | |
| (18) | [porselein] | [eenig] | |
| (19) | [blik] | [284 bladen] | |
| Het Opperhoofd G. F. Meijlan | | | |
| (20) | saffraan | 50 lb. | |
| (21) | zilvere horlogies | 12 stuks | |
| (22) | goudleder | 2 kisten | |
| Kapitein M. Marcussen | | | |
| (23) | sandelhout | 35 picols | |
| (24) | rotting | 90 picols | |
| (25) | saffraan | 20 lb. | 《12 catjes》 |
| (26) | kreeftsoogen | 30 lb. | 《12 catjes》 |
| (27) | Berlijns blaauw | 48 lb. | 《10 catjes》 |
| (28) | drop | 60 lb. | 《4 catjes》 |

| 脇 荷 物 薬 種 荒 物 集 帳 | | | | |
|-------------------|------|--------------|--------------|---------|
| 商 品 | 数 量 | | 落 札 価 格 | 落 札 商 人 |
| 壺番部屋 古かひたん | | | | |
| テリヤアカ | ハチヤ | 500 罐 | 56 匁 9 分 | カキヤ |
| サフラン | | 95 斤 | 570 匁 | 三木ヤ |
| ヲクリカンキリ | | 90 斤 | 107 匁 1 分 | 𠮟 (伊勢屋) |
| 屑珊瑚 | 壺番 | 34 斤 | 13 匁 5 分 9 厘 | 山中 |
| | 貳番 | 440 斤 | 8 匁 9 分 | 亀甲ヤ |
| 痰切 | | 250 斤 | 20 匁 7 分 | 亀甲ヤ |
| 金唐皮 | 壺番 | 54 枚 《5枚》 | 87 匁 1 分 | 殿村ヤ |
| | 貳番 | 80 枚 《5枚》 | 38 匁 9 分 | カキヤ |
| | 三番 | 20 枚 | 22 匁 7 分 | 万ヤ |
| | 四番 | 50 枚 | 33 匁 9 分 8 厘 | 山中 |
| | | 72 枚 | △ 63 匁 9 分 | 山中 |
| | 壺番類違 | 38 枚 | 28 匁 9 分 8 厘 | 万ヤ |
| | 貳番 | 8 枚 | 23 匁 9 分 | 唐物ヤ |
| | 壺番小切 | 40 枚 | 16 匁 9 分 3 厘 | 万ヤ |
| | 貳番小切 | 13 枚 | 17 匁 9 分 | ノロヤ |
| | 三番 | 41 枚 | 32 匁 | 殿村ヤ |
| | 四番 | 26 枚 | 39 匁 | 山中 |
| — | | — | — | — |
| — | | — | — | — |
| ホヽトル | | 120 斤 | 22 匁 8 分 3 厘 | 万ヤ |
| (道)ホルトカル油 | | 30 ふらすこ | 24 匁 9 分 | ノロヤ |
| ブランドウエン | | 38 ふらすこ | △ 6 匁 7 分 | 助松ヤ |
| (道)テレメンテイン油 | | 30 斤 | 9 匁 2 分 | 三松ヤ |
| — | | — | — | — |
| ゼ子フル | | 50 ふらすこ | △ 6 匁 2 分 | 助松ヤ |
| — | | — | — | — |
| — | | — | — | — |
| — | | — | — | — |
| — | | — | — | — |
| — | | — | — | — |
| 三番部屋 新かびたん | | | | |
| サフラン | | 27 斤 | 670 匁 1 分 | 亀甲ヤ |
| — | | — | — | — |
| 金唐皮 | 壺番 | 60 枚 | 61 匁 9 分 6 厘 | 山中 |
| | 貳番 | 136 枚 | 58 匁 9 分 | 三芳ヤ助 |
| | 三番 | 105 枚 | 76 匁 | 上のヤ |
| | 四番 | 134 枚 | 58 匁 9 分 | 唐物ヤ |
| | 五番 | 33 枚 | 45 匁 5 分 | のロヤ |
| | 六番 | 114 枚 | 34 匁 | のロヤ |
| 三番部屋 壺番舟船頭 | | | | |
| 白檀 | | 3000 斤 | 5 匁 6 分 | 𠮟 |
| 藤 | | 10000 斤 | 1 匁 9 分 7 厘 | 助松ヤ |
| サフラン | | 4 斤 8 合 《2斤》 | 695 匁 | 助松ヤ |
| ヲクリカンキリ | | 8 斤 《3斤》 | 97 匁 9 分 | 唐物ヤ |
| 紺青 | | 30 斤 《10斤》 | 43 匁 | 助松ヤ |
| 痰切 | | 40 斤 《4斤》 | 20 匁 1 分 | のロヤ |

| Staat der aangebragte kambang goederen | | | |
|--|-----------------------|-----------------|--|
| | Goederen | Hoeveelheid | |
| (29) | aloes | 100 lb. | |
| (30) | klapperolij | 10 picols | |
| (31) | goudleer | 100 vellen | 《24 kelder / 100 f:》 《1° st: 15 fellen》 《2° st: 20 fellen》 《3° st: 15 fellen》 |
| (32) | divers glaswerk | 5 kistjes | 《表A参照》 |
| (33) | Haarlemmer olij | 40 dozijn | 《22 flesjes》 |
| (34) | Markijn leder | 4 dozijn vellen | 《8 fellen 》 |
| (35) | blaauw porselein | 1 mand | 《表A参照》 |
| (36) | Feneciaansche theriac | 90 lb. | |
| (37) | balsem copaiva | 30 lb. | |
| (38) | olij succini | 26 lb. | |
| (39) | laurier olij | 4 lb. | |
| (40) | caster olij | 2 lb. | |
| (41) | sal amoniac | 15 lb. | |
| (42) | Hofman | 23 ponden | |
| (43) | spiritus nitri | 25 ponden | |
| (44) | aloes | 50 ponden | |
| (45) | bloedsteen | 80 ponden | |
| (46) | drakeblaed | 5 ponden | |
| (47) | balsem peru | 4 ponden | |
| (48) | elixter | 40 flesjes | |
| (49) | sal amoniac | 1 vaatje | |
| (50) | aloes | 1 kistje | |
| (51) | — | — | 《表A参照》 |
| | Kaptein H. M. Lelsz | | |
| (52) | sandelhout | 45 picols | |
| (53) | rotting | 130 picols | |
| (54) | klapperolij | 15 picols | |
| (55) | saffraan | 30 picols | 《16 kelder / 100 fl:》 《8 catjes》 |
| (56) | kreeftsoogen | 40 picols | 《8 catjes》 |
| (57) | Berlijns blaauw | 60 picols | |
| (58) | drop | 90 picols | |
| (59) | aloes | 140 picols | |
| (60) | goudleer | 145 vellen | 《40 fellen 》 |
| (61) | diverent glaswerk | 6 kistjes | 《表B参照》 |
| (62) | Haarlemmer olij | 80 dozijn | |
| (63) | Maroquin leder | 5 dozijn vellen | 《4 fellen 》 |
| (64) | blaauw porselein | 2 manden | 《表B参照》 |
| (65) | Feneciaansche theriac | 100 | |
| (66) | balsem copbaiva | 50 ponden | |
| (67) | olij succinie | 40 ponden | |
| (68) | laurier olij | 8 ponden | |

| 脇 荷 物 薬 種 荒 物 集 帳 | | | | |
|--------------------------------------|----------------------|---------------------|-----------------|---------|
| 商 品 | 数 量 | | 落 札 価 格 | 落 札 商 人 |
| 芦荟 | | 70 斤 | 45 匁 3 分 | 吉田ヤ |
| 椰子油 | | 500 斤 | 9 匁 2 分 6 厘 | 助松ヤ |
| 金唐皮 | 壹番 貳番 三番 | 120 ふうらすこ 《50ふうらすこ》 | 20 匁 8 分 5 厘 | 助松ヤ |
| | | 22 枚 《8枚》 | 71 匁 4 分 | 三芳ヤ助 |
| | | 36 枚 《15枚》 | 73 匁 | の口ヤ |
| | | 22 枚 《10枚》 | 43 匁 8 分 | の口ヤ |
| — | — | — | — | — |
| ハアルレム油 | | 286 瓶 《22瓶》 | 2 匁 7 分 | すヤ |
| 類違ハルシヤ皮 | 類違色 | 20 枚 《8枚》 | △ 41 匁 6 分 | 山中 |
| — | — | — | — | — |
| テリヤアカ | | 50 斤 | 26 匁 6 分 | 山中 |
| ハルサムコツハイハ | | 24 斤 | 57 匁 8 分 9 厘 | 山中 |
| 琥珀油 | | 10 斤 | 27 匁 8 分 | 三松ヤ |
| 月桂油 | | 2 斤 5 合 | 7 匁 1 分 | 唐物ヤ |
| カストール油 | | 1 斤 5 合 | 25 匁 | 舛喜 |
| サルアルモニヤシ | | 160 斤 | 22 匁 9 分 | 吉田ヤ |
| ホフマン | ストップ | 10 斤 《2斤》 | 13 匁 | 舛喜 |
| スリイユスニテイレステルシユス 〔上掲 芦荟〕 | | 15 斤 | 10 匁 9 分 | 舛喜 |
| カナノヲル | | 44 斤 | 31 匁 2 分 | ヒノ七 |
| キリン血 | | 2 斤 5 合 | 32 匁 5 分 | 岩井ヤ |
| ハルサムヘイリウ | | 2 斤 5 合 | 70 匁 | 舛喜 |
| マ、クエレキシユル 〔上掲 サアルモニヤシ〕 〔上掲 芦荟〕 | | 40 瓶 | △ 3 匁 4 分 | 助松ヤ |
| — | — | — | — | — |
| 四番部屋 貳番舟船頭 | | | | |
| 白檀 | | 4500 斤 | 5 匁 8 分 1 厘 2 毛 | 三 |
| 藤 | | 15000 斤 | 2 匁 1 分 1 毛 | 竹のヤ |
| 椰子油 | 120 ふうらすこ 《50瓶》 | 500 斤 | 9 匁 8 分 8 厘 | すヤ |
| | | 6 斤 9 合 《2斤》 | 22 匁 8 分 2 厘 | すヤ |
| | | 8 斤 《3斤》 | 698 匁 | 助松ヤ |
| サクラン | | 8 斤 | 99 匁 | 亀甲ヤ |
| 紺青 | | 35 斤 | 53 匁 9 分 6 厘 | 山中 |
| 痰切 | | 57 斤 | 20 匁 3 分 | 吉田ヤ |
| 芦荟 | | 80 斤 | 43 匁 8 分 | 舛喜 |
| 金唐皮 | 壹番 貳番 三番 四番 | 45 枚 《15枚》 | 78 匁 9 分 | 万ヤ |
| | | 48 枚 《20枚》 | 80 匁 9 分 | 万ヤ |
| | | 7 枚 | 65 匁 9 分 | 竹のヤ |
| | | 35 枚 | 63 匁 9 分 | 亀甲ヤ |
| — | — | — | — | — |
| ハアルレム油 | 壹番 貳番 | 157 瓶 | 3 匁 2 分 2 厘 | 唐物ヤ |
| | | 393 瓶 | 2 匁 7 分 3 厘 | 吉田ヤ |
| 類違ハルシヤ皮 | 類違色 | 20 枚 《4枚》 | △ 45 匁 9 分 8 厘 | 万ヤ |
| — | — | — | — | — |
| テリヤアカ | ハナヤ | 600 罐 | 48 匁 9 分 | カキヤ |
| | | 20 斤 | 23 匁 9 分 | 竹のヤ |
| ハルサムコツハイハ | | 16 斤 | 60 匁 | 唐物ヤ |
| 琥珀油 | | 25 斤 | 21 匁 6 分 | の口ヤ |
| 月桂油 | | 5 斤 | 5 匁 1 分 | 唐物ヤ |

| Staat der aangebragte kambang goederen | | | |
|--|---|------------------|--|
| Goederen | | Hoeveelheid | |
| (69) | caster olij | 2 ponden | |
| (70) | sal amoniac | 15 ponden | |
| (71) | Hofman | 23 ponden | |
| (72) | spiritus nitri | 25 ponden | |
| (73) | bloedsteen | 90 ponden | |
| (74) | drakebloed | 10 ponden | |
| (75) | balsem peru | 6 ponden | |
| (76) | elixter | 40 flesjes | |
| (77) | aloes | 50 ponden | |
| (78) | sal amoniac | 1 vaatje | |
| (79) | — | — | 《表B参照》 |
| | Pakhuismeester J.F. van Overmeer Fisscher | | |
| (80) | drop | 400 ponden | 《50 katjes》 |
| (81) | salamoniac | 200 ponden | |
| (82) | bloedsteen | 80 ponden | |
| (83) | Haarlemmer olij | 150 flesjes | |
| (84) | kreeftsoogen | 140 ponden | 《20 katjes》 |
| (85) | olij succinie | 50 ponden | |
| (86) | balsem copaijva | 40 ponden | |
| (87) | saffraan | 60 ponden | 《1 ^e s ^t : 10 katjes》 《2 ^e s ^t : 12 katjes》 |
| (88) | medicijn flesjes | 400 stuks | 《1 soort: 10》 《2 soort: 10》 《3 soort: 10》 《4 soort: 10》 《5 soort: 10》 《10 soort: 10》 |
| (89) | galon | 60 ellen | 《1: soort: 20 waaijer》 |
| (90) | nacht lampjes | 6 stuks | 《3》 |
| (91) | gewone kina bast | 200 ponden | |
| | | | 《L. Ha. : 30 katje》 |
| (92) | balsem peru | 5 ponden | |
| (93) | Rigasche balsem | 40 blikjes | |
| (94) | Veniciaansche theriac | 60 kleine bosjes | 《2 ^e s ^t : 30 bosjen》 |
| (95) | bloedkoraal / gruis / | 7 picols | 《50 katjes》 |
| (96) | goudleer | 600 ponden | 《2 ^e soort: 20 vel》 《3 ^e soort: 20 vel》 《4 ^e soort: 20 vel》 《5 ^e soort: 20 vel》 《6 ^e soort: 40 vel》 《L. J. : 10 vel》 《L. Lo. : 20 vel》 《L. Ha. : 20 vel》 |

| 脇荷物薬種荒物集帳 | | | |
|---------------------------------------|---------------|----------|---------|
| 商 品 | 数 量 | 落札価格 | 落札商人 |
| カストール油 | 1斤5合 | 18匁9分 | 三松ヤ |
| サルアルモニヤシ | 160斤 | 25匁 | 山中 |
| ホフマン | 20斤 | 8匁 | 舛喜 |
| スリイユスニテイユステルシユス | 20斤 | 8匁 | 舛喜 |
| カナノヲル | 64斤 | 33匁5分6厘 | 山中 |
| キリン血 | 5斤 | 35匁6分 | 唐物ヤ |
| ハルサムヘイリウ | 2斤5合 | 30匁9毛 | 山中 |
| マヽクエレキシユル 〔上掲 芦薈〕 〔上掲 サルアルモニヤシ〕 | 39瓶 | △ 3匁9分1厘 | 唐物ヤ |
| — | — | — | — |
| 五番部屋 へとる ひとる 痰切 | 330斤 《50斤》 | 19匁4分 | 吉田ヤ |
| サルアルモニヤシ | 壺番 150斤 | 26匁8分 | 三松ヤ |
| | 貳番 20斤 | 17匁6分 | 山中 |
| カナノヲル | 壺番 55斤 | 24匁5分3厘 | ノロヤ |
| | 貳番 16斤 | 17匁9分 | ノロヤ |
| ハアルレム油 | 150瓶 | △ 2匁9分3厘 | 助松ヤ |
| ヨクリカンキリ | 60斤 《15斤》 | 103匁8分 | 岩井屋 |
| 琥珀油 | 壺番 26斤 | △ 23匁 | 山中 |
| | 貳番 8斤 | △ 18匁9分 | 三松ヤ |
| ハルサムコツハイハ | 24斤 | 56匁9分 | 山中 |
| サフラン | 壺番 14斤 《5斤》 | 700匁 | 唐物ヤ |
| | 貳番 17斤9合 《7斤》 | △ 600匁 | 三木ヤ |
| — | — | — | — |
| — | — | — | — |
| — | — | — | — |
| — | — | — | — |
| — | — | — | — |
| — | — | — | — |
| — | — | — | — |
| — | — | — | — |
| — | — | — | — |
| — | — | — | — |
| キナキナ | い 6斤5合 | △ 40匁3分 | 山中 |
| | ろ 8斤 | △ 55匁 | 舛喜 |
| | は 100斤 《30斤》 | 35匁1分3厘 | すヤ |
| ハルサムヘイリウ | 4斤 | △ 45匁3分 | 舛喜 |
| テイーゲハルサム | 24瓶 | 11匁5分 | 山中 |
| テリヤアカ | 壺番 20罐 | 35匁8分 | 亀甲ヤ |
| | 貳番 100罐 《30罐》 | △ 3匁8分 | 助松ヤ |
| 屑珊瑚 | 560斤 《50斤》 | 6匁3分8厘 | 唐物ヤ |
| 金唐皮 | 壺番 22枚 | 116匁8分 | 萬ヤ |
| | 貳番 39枚 《4枚》 | 67匁9分 | カキヤ |
| | 三番 45枚 《20枚》 | △ 59匁 | 亀甲ヤ |
| | 四番 79枚 《20枚》 | 74匁 | 三木ヤ |
| | 五番 144枚 《20枚》 | 53匁7分 | 三松ヤ |
| | 六番 142枚 《40枚》 | 48匁6分 | のロヤ |
| | い 26枚 《8枚》 | 137匁 | ㊦ (伊勢屋) |
| | ろ 48枚 《10枚》 | 148匁9分 | 山中 |
| | は 41枚 《10枚》 | 186匁3分 | ㊦ (伊勢屋) |
| | に 13枚 | 114匁2分 | 殿村ヤ |

| Staat der aangebragte kambang goederen | | | |
|--|-----------------------------------|-------------|-------------|
| Goederen | | Hoeveelheid | |
| (97) | theriac | 20 ponden | |
| (98) | diversche kelkjes | 50 dozijn | 《表C参照》 |
| (99) | aloë | 200 ponden | |
| (100) | Arabische gom | 70 ponden | |
| (101) | bast van kina / beste kwaliteit / | 10 ponden | |
| (102) | geslepe kompottes | 50 stuks | 《8》 |
| (103) | genzing wortel | 15 katjes | |
| (104) | — | — | |
| (105) | — | — | |
| (106) | — | — | |
| (107) | — | — | 《表C参照》 |
| Den Scriba Van Outeren | | | |
| (108) | diverse glaswerken | 1 kist | 《表D参照》 |
| (109) | theeserviesen | 6 stuks | |
| (110) | defecte glazen kroonen | 2 stuks | |
| (111) | saffraan | 75 katjes | 《20 katjes》 |
| (112) | takkoraal / ruwe / | 10 picols | |
| (113) | kina | 100 katjes | |
| (114) | bloedsteen | 35 katjes | |
| (115) | kreeftsoogen | 75 katjes | 《20 katjes》 |
| (116) | aardewerk | 3 manden | |
| Doctor Von Siebold | | | |
| (117) | saffraan | 12 ponden | 《7 kat.》 |
| (118) | goudleer | 200 vellen | |
| (119) | kinabast | 50 ponden | |
| (120) | cajapoetie olij | 10 flessen | |
| (121) | — | — | 《表E参照》 |
| Doctor H. Burger | | | |
| (122) | saffraan | 8 ponden | 《1 katje》 |
| (123) | kreeftsoogen | 50 ponden | |
| (124) | bloedsteen | 50 ponden | |
| (125) | drop | 50 ponden | 《10 katjes》 |

| 脇 荷 物 薬 種 荒 物 集 帳 | | | | |
|-------------------|-----------------|----------------|----------------|------|
| 商 品 | 数 量 | | 落 札 価 格 | 落札商人 |
| 〔上掲 テリヤアカ〕 | ほ | 11 枚 | 118 匁 7 分 | 岩井ヤ |
| | へ | 36 枚 | 89 匁 1 分 | 唐物ヤ |
| | と | 21 枚 | 70 匁 8 分 | 野口ヤ |
| | | 23 枚 | 229 匁 9 分 | 助松ヤ |
| | 壱番大幅尺長 | 1 枚(1 丈) | 53 匁 | 亀甲ヤ |
| | 貳番大幅尺長 | 4 枚(2 丈 7 尺) | 48 匁 9 分 8 厘 | 万ヤ |
| | 三番 | 3 枚(2 丈 3 尺) | 48 匁 9 分 | 萬ヤ |
| | 四番 | 1 枚(1 丈) | 36 匁 2 分 | 殿村ヤ |
| | 壱番尺長 | 7 枚(6 丈 6 尺) | △ 20 匁 8 分 | 三木ヤ |
| | 貳番 | 27 枚(16 丈 6 尺) | △ 18 匁 6 分 8 厘 | 万ヤ |
| | 三番 | 6 枚(4 丈 3 尺) | △ 13 匁 5 分 | の口ヤ |
| ― | ― | ― | ― | |
| 芦薈 | 160 斤 | 46 匁 | 舛喜 | |
| アラヒヤゴン | 45 斤 | 41 匁 | 竹のヤ | |
| 〔上掲 キナキナ〕 | ― | ― | ― | |
| ― | ― | ― | ― | |
| 廣東人參 | 10 斤 | 39 匁 6 分 | 山中 | |
| カミルレ 但野菊之花 | 壱番 40 斤 | △ 1 匁 7 厘 | 亀甲ヤ | |
| | 貳番 40 斤 | △ 8 分 | 亀甲ヤ | |
| | 三番 120 斤 | △ 6 分 | 助松ヤ | |
| キリン血 | 8 斤 | △ 23 匁 9 分 | 助松ヤ | |
| コムアムモニヤク | 20 斤 | △ 1 匁 6 分 8 厘 | 亀甲ヤ | |
| ― | ― | ― | ― | |
| 六番部屋 あふてれん | ― | ― | ― | |
| ― | ― | ― | ― | |
| ― | ― | ― | ― | |
| サフラン | 24 斤 《5斤》 | 717 匁 8 分 | 亀甲ヤ | |
| 屑珊瑚 | 800 斤 | 6 匁 5 分 9 厘 | 亀甲ヤ | |
| キナキナ | 50 斤 | 48 匁 9 分 | ノ口ヤ | |
| カナノヲル | 35 斤 | 38 匁 6 分 | 亀甲ヤ | |
| ヲクリカンキリ | 30 斤 《8斤》 | 105 匁 3 分 | 助松ヤ | |
| ― | ― | ― | ― | |
| 七番部屋 古外科 しいほると | ― | ― | ― | |
| サフラン | 7 斤 8 合 《2斤》 | 720 匁 | 萬ヤ | |
| 金唐皮 | 壱番 23 枚 | 70 匁 | 三木ヤ | |
| | 貳番 14 枚 | 74 匁 6 分 | 上のヤ | |
| | 三番 69 枚 | 66 匁 9 分 | 萬ヤ | |
| | 尺長 9 枚(8 丈 1 尺) | 22 匁 3 分 8 厘 | 上のヤ | |
| キナキナ | 40 斤 | △ 38 匁 7 分 | 山中 | |
| カヤフーテ油 | 10 ふらすこ | △ 41 匁 9 分 | 山中 | |
| ― | ― | ― | ― | |
| 八番部屋 新外科 ひゆるげる | ― | ― | ― | |
| サフラン | 3 斤 《1斤》 | 710 匁 | 唐物ヤ | |
| ヲクリカンキリ | 15 斤 | 107 匁 | 吉田ヤ | |
| カナノヲル | 40 斤 | 19 匁 1 分 | 山中 | |
| 痰切 | 30 斤 《6斤》 | 21 匁 | カキヤ | |

| Staat der aangebragte kambang goederen | | | |
|--|--|-------------|--|
| | Goederen | Hoeveelheid | |
| (126) | balsem copaijva | 20 ponden | |
| (127) | glaswerk | jets | |
| Den Ambtenaar De Villeneuve | | | |
| (128) | saffraan | 10 ponden | 《3 katjes》 |
| (129) | goudleer | 100 vellen | 《1 ^e soort: 7 vel》 《2 ^e soort: 6 vel》 |
| (130) | kreeftsoogen | 10 ponden | 《2 katjes》 |
| (131) | kina bast | 50 ponden | 《10 katjes》 |
| Den Ambtenaar C. H. Gozeman | | | |
| (132) | saffraan | 10 katjes | 《3 katjes》 |
| (133) | kaijae poetie olie | 11 flessen | 《3 flessen》 |
| (134) | glaswerk / zijnde kelkjes / alsmede eenig aardewerk en diverse | 2 kistjes | 《3 dozijn kelkjes》 |
| Den Ambtenaar A. Manuel | | | |
| (135) | saffraan | 12 katjes | 《4 katjes》 |
| (136) | drop | 200 katjes | 《30 katjes》 |
| (137) | salamoniac | 120 katjes | |
| (138) | bloedsteen | 50 katjes | 《12 katjes》 |
| (139) | Haarlemmer olij | 250 flesjes | 《50 vlessjes》 |
| (140) | kreeftsoogen | 40 katjes | 《12 katjes》 |
| (141) | oleum succini | 35 katjes | |
| (142) | balsam copaiva | 25 katjes | |
| (143) | gruis bloedkoraal | 7 pikkols | 《1 ^e soort: 50 katjes》 《2 ^e soort: 50 katjes》 |
| (144) | goudleer | 200 vellen | 《1 ^e soort: 10 vellen》 《2 ^e soort: 25 vellen》 《3 ^e soort: 25 vellen》 《5 ^e soort: 25 vellen》 |
| (145) | kristalle kompottes | 6 stuks | 《4》 |
| (146) | kristalle kelkjes | 14 dozijn | |
| (147) | geslepe karaffen | 12 stuks | 《3》 |
| (148) | — | — | 《表F参照》 |
| Den Ambtenaar Verkerk Pistorius | | | |
| (149) | takkoraal | 7 picols | |
| (150) | divers glaswerk | 1 kist | 《表G参照》 |
| (151) | theeservies | 1 | |
| (152) | saffraan | 60 katjes | 《15 k ^t 》 |
| (153) | Berlijns blaauw | 170 katjes | |
| (154) | olij succinie | 2 katjes | |
| (155) | drop | 100 katjes | |
| (156) | salomoniac | 35 katjes | |
| (157) | aardewerk | 3 manden | |

| 脇 荷 物 薬 種 荒 物 集 帳 | | | |
|---|---|--|---|
| 商 品 | 数 量 | 落 札 価 格 | 落札商人 |
| ハルサムコツハイハ — | 12 斤 — | 57 匁 5 分 — | 山中 — |
| 九番部屋 びねねへ サフラン 金唐皮 | 3 斤 4 合 《1斤》 34 枚 《7枚》 33 枚 《6枚》 16 枚 | 713 匁 95 匁 9 分 69 匁 8 分 43 匁 | 三木ヤ 山中 山中 ノロヤ |
| ヲクリカンキリ キナキナ | 6 斤 《2斤》 30 斤 《7斤》 | 105 匁 1 分 58 匁 | 亀甲 吉田ヤ |
| 拾番部屋 がうせまん サフラン カヤフーテ油 — | 3 斤 9 合 《1斤》 11 ふらすこ 《3瓶》 — | 716 匁 △ 44 匁 9 分 — | 三木ヤ 岩井ヤ — |
| 拾壹番部屋 まにゑる サフラン 痰切 サルアルモニヤシ カナノヲル ハアルレム油 ヲクリカンキリ 琥珀油 ハルサムコツハイハ 屑珊瑚 | 8 斤 8 合 《2斤》 200 斤 《30斤》 130 斤 56 斤 《12斤》 216 瓶 《50瓶》 40 斤 《10斤》 40 斤 30 斤 280 斤 《50斤》 280 斤 《5斤》 15 枚 《5枚》 36 枚 《10枚》 64 枚 《25枚》 40 枚 36 枚 《15枚》 16 枚 尺長 6 枚 (3 丈) | 621 匁 20 匁 9 分 24 匁 7 分 8 厘 19 匁 1 分 △ 2 匁 8 分 9 厘 105 匁 5 分 3 厘 21 匁 9 分 58 匁 9 分 5 厘 8 匁 9 分 7 匁 3 分 9 厘 179 匁 118 匁 9 分 80 匁 8 分 73 匁 9 分 46 匁 8 分 116 匁 21 匁 6 分 — — — — | 唐物ヤ 助松ヤ 山中 全 (唐物ヤ) 助松ヤ 岩井ヤ 助松ヤ カキヤ 亀甲 カキヤ 吉田ヤ 三松ヤ ノロヤ 万ヤ ノロヤ 全 (吉田ヤ) 山中 — — — — |
| — — — — | — — — — | — — — — | — — — — |
| 拾貳番部屋 ひゆすとおりゆす 屑珊瑚 — — サフラン 紺青 | 600 斤 — — 56 斤 7 合 《10斤》 70 斤 35 斤 | 9 匁 8 分 7 厘 — — 740 匁 61 匁 8 分 49 匁 9 分 | 助松ヤ — — 三木ヤ 助松ヤ 助松ヤ |
| 琥珀油 痰切 サルアルモニヤシ — | 2 斤 80 斤 35 斤 — | 39 匁 27 匁 9 分 23 匁 6 分 — | 万ヤ 刃 (竹野屋) 山中 — |

| Staat der aangebragte kambang goederen | | |
|--|-----------------------------|--------------------------------------|
| | Goederen | Hoeveelheid |
| (158) | gemeene kina | 150 katjes |
| (159) | — | — 《kreeftsoogen: 15 k ^t 》 |
| | <Eerste Stuurman H. Douwes> | |
| (160) | <saffraan> | < 9 lb.> |
| (161) | <kreeftsoogen> | <20 lb.> |
| (162) | <Berleijns blauw> | <30 lb.> |
| (163) | <theriac> | <80 lb.> |
| (164) | <aloe> | <40 lb.> |
| (165) | <salamoniac > | <30 lb.> |
| (166) | <bloedsteen> | <30 lb.> |
| (167) | <balsem copiva> | <20 lb.> |
| (168) | <laurier drop> | <50 lb.> |
| (169) | <olij succine> | <15 lb.> |
| (170) | <dracken bloed> | < 5 lb.> |
| (171) | <goudleer> | <50 fellen> |
| | — | |
| (172) | — | — |
| (173) | — | — |
| | — | |
| (174) | — | — |
| | — | |
| (175) | — | — |
| (176) | — | — |
| | — | |
| (177) | — | — |

出典・ Staat der aangebragte kambang goederen は、Aangebragte particuliere kambang goederen. Japan A^o.1826. [Japan Portefeuille N^o.27.1829a-b]MS.N.A.Japans Archief, nr.1450 (K.A.11803). (Tōdai-Shiryō Microfilm : 6998-1-81-14)。

・脇荷物薬種荒物集帳は、「戌紅毛船式艘分脇荷物〔薬種荒物集帳〕」(杏雨書屋所蔵村上家文書)。

註・「—」は、史料に記載のないことを示す。

・△は、「不賣分」を示す。

・(追)は、「追脇荷」を示す。

・[]内は、Nadere factuur van kambang goederen van het Opperhoofd De Sturler. Aangebragte particuliere kambang goederen. Japan A^o.1826. [Japan Portefeuille N^o.27.1829a-b]MS.N.A.Japans Archief, nr.1450 (K.A.11803). (Tōdai-Shiryō Microfilm : 6998-1-81-14)による。

・< >内は、Factuur van goederen aangebracht met de Onderneeming Capt. M. H. Lels voor reekening en ricico van H. Douwes Eerste Stuurman van vernoemde schip. Aangebragte particulier kambang goederen. Japan A^o.1826. [Japan Portefeuille N^o.27.1829a-b]MS.N.A.Japans Archief, nr.1450 (K.A.11803). (Tōdai-Shiryō Microfilm : 6998-1-81-14)による。

| 脇 荷 物 薬 種 荒 物 集 帳 | | | |
|-------------------|--------------------------|-----------------------|-----------|
| 商 品 | 数 量 | 落 札 価 格 | 落 札 商 人 |
| キナキナ | 150 斤 | 40 匁 8 分 | 助松ヤ |
| ヲクリカンキリ | 20 斤 《5斤》 | △ 105 匁 | 吉田ヤ |
| 拾三番部屋 番案針役 | | | |
| サフラン | 4 斤 | 726 匁 5 分 | 三木ヤ |
| ヲクリカンキリ | 16 斤 | 105 匁 5 分 5 厘 | 助松ヤ |
| 紺青 | 28 斤 | 49 匁 | 日の七 |
| テリヤアカ | 60 斤 | 29 匁 1 分 | 山中 |
| 芦薈 | 32 斤 | 45 匁 | 吉田ヤ |
| サルアルモニヤシ | 26 斤 | 22 匁 2 分 | ノロヤ |
| カナノヲル | 24 斤 | 36 匁 | 日の七 |
| ハルサムコツハイハ | 21 斤 | 57 匁 6 分 | 山中 |
| — | — | — | — |
| 琥珀油 | 5 徳利 但正味 1 斤 2 合宛入 | 20 匁 1 分 | 助松ヤ |
| — | — | — | — |
| 金唐皮 | 壹番 73 枚 《10枚》 貳番 29 枚 | 68 匁 6 分 56 匁 9 分 | 山中 三松ヤ |
| 拾四番部屋 番船外科 | | | |
| サフラン | 3 斤 2 合 | 717 匁 | 三木ヤ |
| 金唐皮 | 壹番 81 枚 貳番 38 枚 | 120 匁 9 分 87 匁 9 分 | 山中 山中 |
| キリン血 | 2 斤 5 合 | 36 匁 | 吉田ヤ |
| 拾五番部屋 二番科 | | | |
| サフラン | 8 斤 5 合 | 705 匁 | 吉田ヤ |
| 類違ハルシヤ皮 | 類違緋 10 枚 | △ 48 枚 | 全 (吉田ヤ) |
| 拾六番部屋 | | | |
| サフラン | 6 斤 | 718 匁 | 吉田ヤ |

表A (M. Marcussen)

| 商 品 名 | 訳 (「」内は訳例のあるもの) | 数 量 | 訳 |
|---|--|-------------------|-----|
| fruitschaalen met onderschotels | 深皿付きの果物を盛る皿、「切子菓子入」、「切子鉢」 | 2 | 2 |
| compotten | コンポート (菓子・果物用の足付きの盛り皿)、「切子菓子入」、「切子臺付蓋物」「硝子臺附菓子入」 | 2 p. ^s | 2 ツ |
| caraffen | 水差し、デカンタ、「酢醬油入」、「銘酒瓶」、「硝子瓶」、「切子瓶」 | 2 p. ^s | 2 ツ |
| presenteer bladje | 盆 | 2 p. ^s | 2 ツ |
| dexel van een roomkom | クリーム鉢の蓋 | 2 | 2 |
| defecte sous terrines | 欠陥のあるソース鉢 | 4 | 4 |
| flackke borden 8 d ^m . | 8 ダイムの平皿、「焼物鉢」 | 80 | 80 |
| flackke borden 2 ^d soort 7d ^m . | 7 ダイムの平皿第 2 種、「焼物鉢」 | 40 | 40 |
| diepe borden | 深皿 | 36 | 36 |
| fleesch schoetels | 肉用の盛り皿 | 2 | 2 |
| vische schoetels | 魚用の盛り皿 | 2 | 2 |
| groente argitten met dexel | 蓋付きの野菜用の皿 | 4 | 4 |
| groente argitten zonder dexel | 蓋の付かない野菜用の皿 | 4 | 4 |
| kleijn flesch schaal | 小さい肉用の盛り皿 | 4 | 4 |

表B (H. M. Lels)

| 商 品 名 | 訳 (「」内は訳例のあるもの) | 数 量 | 訳 |
|-------------------------------------|-------------------|-----|----|
| flackke borden 8 d ^m | 8 ダイムの平皿、「焼物鉢」 | 40 | 40 |
| flackke borden 7 d ^m | 7 ダイムの平皿、「焼物鉢」 | 20 | 20 |
| flackke borden kleijn desert bordje | 小さいデザート用の平皿、「焼物鉢」 | 20 | 20 |
| gedekte groente argetten met dexel | 蓋付きの野菜用の皿 | 4 | 4 |
| ovale groente asjetten | 楕円形の野菜用の皿 | 4 | 4 |
| kleijne vleesch schaaen | 小さい肉用の盛り皿 | 4 | 4 |

表C (J. F. van Overmeer Fisscher)

| 商 品 名 | 訳 (「」内は訳例のあるもの) | 数 量 | 訳 |
|------------------------------------|-----------------------------|--------|-----|
| kelkjes | 盃様のコップ、「こつぷ」 | 36 | 36 |
| dekselkommen | 蓋付きの椀、「硝子蓋物」 | 20 | 20 |
| gemeene Vriesche klok | 並のフリースラント様式の時計 | 1 | 1 |
| behangsel papier | 壁紙 | 1 kist | 1 箱 |
| kommen met voet | 足付きの椀 | 3 | 3 |
| vergulde kelkjes 1 soort | 金メッキしたコップ第 1 種、「硝子器」、「臺こつぷ」 | 10 | 10 |
| vergulde kelkjes 2 s ^t | 金メッキしたコップ第 2 種、「硝子器」、「臺こつぷ」 | 6 | 6 |
| vergulde kelkjes met goudtrand | 金縁のコップ、「硝子器」、「臺こつぷ」 | 4 | 4 |
| kelkjes met viercante voet 1 soort | 四角い足の付いたコップ第 1 種 | 6 | 6 |
| spiegeltjes | 小さい鏡、「鏡」 | 30 | 30 |

表D (Van Outeren)

| 商 品 名 | 訳 (「」内は訳例のあるもの) | 数 量 | 訳 |
|------------------|-----------------------------------|-------------|-------|
| vergulde kelkjes | 金メッキしたコップ、「硝子器」、「臺こつぷ」 | 15 | 15 |
| karaffen | 水差し、デカンタ、「酢醤油入」、「銘酒瓶」、「硝子瓶」、「切子瓶」 | 7 | 7 |
| bierglazen | ビールグラス | 2 foudralen | 2 ケース |

表E (Von Siebold)

| 商 品 名 | 訳 (「」内は訳例のあるもの) | 数 量 | 訳 |
|--------------------------|-----------------|----------|-----|
| geslepeene glaze steenen | カットガラスの石 | 1 kistje | 1 箱 |
| stopflesschjes | 栓をした瓶、「薬瓶」、「小瓶」 | 1 kistje | 1 箱 |

表F (A. Manuel)

| 商 品 名 | 訳 (「」内は訳例のあるもの) | 数 量 | 訳 |
|---------------------|------------------|-----|---|
| olie en azijnzettje | オイルと食用酢のセット、「引提」 | 1 | 1 |
| glaze boter potje | ガラス製のバター用の小壺 | 1 | 1 |

表G (Verkerk Pistorius)

| 商 品 名 | 訳 (「」内は訳例のあるもの) | 数 量 | 訳 |
|------------------|-----------------------------------|-------------|-------|
| vergulde kelkjes | 金メッキしたコップ、「硝子器」、「臺こつぷ」 | 15 | 15 |
| karaffen | 水差し、デカンタ、「酢醤油入」、「銘酒瓶」、「硝子瓶」、「切子瓶」 | 6 | 6 |
| bierglazen | ビールグラス | 2 foudralen | 2 ケース |

表2 文政9年（1826）の脇荷物売主名一覧表

| Staat der aangebragte kambang goederen | 脇荷物葉種荒物集帳 | Traktementstaten | 備考 |
|--|---|---|---|
| Het Opperhoofd De Sturler Het Opperhoofd G. F. Meijlan Kapitein M. Marcussen | 老番部屋 古かひたん 式番部屋 新かひたん 三番部屋 老番舟船頭 | J. W. de Sturler Afgetreden Opperhoofd G. F. Meijlan Opperhoofd (Het Particuliere Schip Alexander Gezagvoerder Mercus Mercussen) | 旧商館長 新商館長 アレクサンデル号の船長 |
| Kapitein H. M. Lelsz | 四番部屋 式番舟船頭 | (Het Particuliere Schip Onderneming Gezagvoerder H. M. Lelsz) | オンデルネーミング号の船長 |
| Pakhuismeester J. F. van Overmeer Fisscher Den Scriba Van Outeren Doctor Von Siebold Doctor H. Burger Den Ambtenaar De Villeneuve Den Ambtenaar C. H. Gozeman Den Ambtenaar A. Manuel Den Ambtenaar Verkerk Pistorius <Eerste Stuurman H. Douwes> — — — | 五番部屋 へとむむとむ 六番部屋 あふてれん 七番部屋 餅餅 いはむと 八番部屋 餅餅 ひねむら 九番部屋 てひはうへ 拾番部屋 がうせまん 拾壹番部屋 まにゑる 拾貳番部屋 ひねとりのけ 拾参番部屋 餅餅餅 拾四番部屋 餅餅餅 拾五番部屋 餅餅餅 拾六番部屋 | J. F. van Overmeer Fisscher Pakhuismeester P. van Outeren Scriba en Boekhouder P. F. von Siebold Chirurgijn Majoer H. Burger Apotheker der 3 ^e Klasse C. H. de Villeneuve Teekenaar C. H. Gozeman Klerk der 2 ^e Klasse A. Manuel Klerk der 2 ^e Klasse J. W. Verkerk Pistorius Ambtenaar | 荷蔵役 筆者頭兼簿記役 旧外科医 薬剤師 画家 商館員 商館員 商館員 航海士 |

出典・Staat der aangebragte kambang goederen は、Aangebragte particuliere kambang goederen. Japan A°. 1826. [Japan Portefeuille N°27.1829a-b]

MS.N.A.Japans Archief, nr.1450 (K.A.11803). (Tōdai-Shiryō Microfilm : 6998-1-81-14)。

・脇荷物葉種荒物集帳は、「戌紅毛船式艘分脇荷物〔葉種荒物集帳〕」（杏雨書屋所蔵村上家文書）。

・Traktementstaten は、[Japan Portefeuille N° 24. 1826] MS.N.A.Japans Archief, nr.1447 (K.A.11799). (Tōdai-Shiryō Microfilm : 6998-1-78-18)。

・〔 〕内は、Factuur 1826. [Japan Portefeuille N° 24. 1826] MS.N.A.Japans Archief, nr.1447 (K.A.11799). (Tōdai-Shiryō Microfilm : 6998-1-78-20)。

blueのこと。プルシアンブルーはプロシアにおいて1704年から1707年の間に発見され、1730年頃ヨーロッパにおいて広まりをみせ、浮世絵など日本で広く普及したのは文政12年（1829）頃とされている。⁽²³⁾

(29) (44) (50) (59) (77) (99) (164) 芦荟 → aloe, aloë, aloes

芦荟はアロエのこと。アロエ aloe, aloë, aloes は、ユリ科の多年草。その葉から採る汁液を濃縮、半固体にしたのが、ガム・アロエ。緩下剤。⁽²⁴⁾

(30) (54) 椰子油 → klapperolij

klapperは「ココヤシの実」、olijは「油」の意。ココヤシの果実の胚乳を搾った油。特殊な臭いのある、白色または淡黄色の脂肪。主成分はミリスチン酸など低級脂肪酸を多く含む。便秘・痔・痛風の際、塗布する良薬という。⁽²⁵⁾

(32) (61) (108) (127) (150) — → divers glaswerk, diverse glaswerken, diverent glaswerk, glaswerk

divers (diverse, diverent) は「種々の」の意。glaswerk (-en) はガラス製品。日本側の訳例としては「硝子器類」「硝子器」「切子物」などがある。⁽²⁶⁾

(33) (62) (83) (139) ハアルレム油 → Haarlemmer olij

Haarlemmerは「ハーレムの」、olijは「油」。熱帯アフリカ原産アブラヤシの果皮から得られる脂肪油。⁽²⁷⁾

(34) (63) (176) 類違ハルシヤ皮 → Maroquin leder, Markijn leder

Maroquin (Markijn) は、「モロッコ皮」、lederは「皮」の意。類違は、従来のものとは違ったニュートイ

プを意味する。ハルシヤは「ペルシア」のこと。モロッコ皮を日本側は「ハルシヤ皮」と訳している。山羊などの皮をなめし、染色して模様をおいたもの。鎧のおどし、馬具などの飾り皮、袋物などに用いた。⁽²⁸⁾

(35) (64) — → blaauw porselein

blaauwは「青色」、porseleinは上述。青色の磁器。

(37) (66) (86) (126) (142) (167) ハルサムコツハイハ → balsem copaiva, balsem copbaiva, balsem copaijva, balsam copaiva

南米産のマメ科コバイバ樹copaibaから採れる芳香のある含油樹脂balsam。肺病や気管支炎・膀胱炎・淋病の治療に用いる。⁽²⁹⁾

(38) (67) (85) (141) (154) (169) 琥珀油 → olij succini, olij succinie, olij succine, oleum succini

琥珀油は、琥珀barnsteen coral, alambercoral（化石樹脂）の蒸留油で、利尿薬・止血薬（白帯下、吐血などの止血）・抗痙攣薬（子痙・てんかんの鎮痙薬）とした。また琥珀塩を琥珀油から分離し、揮発・衝動薬とした。⁽³⁰⁾

(39) (68) 月桂油 → laurier olij

地中海沿岸地域原産クスノキ科ゲッケイジュの果実油。健胃剤・利尿薬・月経の促進に用いる。⁽³¹⁾

(40) (69) カストール油 → caster olij

海狸beaverの鼠蹊部の腺から分泌する強い香りのある油性物質。覚醒作用がある。⁽³²⁾

(41) (49) (70) (78) (81) (137) (156) (165) サルアルモニヤシ → sal amoniac, salamoniac, salomoniac

塩化アンモニウム。牛馬・駱駝などの動物の尿を凝

固したものに海塩、煙煤を加え、水溶液を濾過、蒸散して固めたもの。止痢・去痰に用いる。石灰精を加えて発汗・解熱にも用いた。⁽³³⁾

(42) (71) ホフマン、ホフマン ストロップ → Hofman

ホフマンズ・ドロップHoffmanns dropは、ドイツの薬学者フリードリッヒ・ホフマンF. Hoffmann創製の甘草エキスdrop van soethoutのこと。⁽³⁴⁾

(43) (72) スフリイテユスニテイリエステルシユウ → spiritus nitri

甘硝石精。解熱剤。⁽³⁵⁾

(45) (73) (82) (114) (124) (138) (166) カナノラル → bloedsteen

カナノラル (bloedsteen) は、血留石と称し、血石すなわち繊維赤鉄鉱。カナノラルはインド・マラバル海岸の輸出港Cananor (Kananur) からきている。血石はオランダ語bloedsteenの訳語。止血剤。⁽³⁶⁾

(46) (74) (105) (174) キリン血 → drakeblaed, drakebloed

キリン血は、ユリ科の高木竜血樹の樹脂または果実の蒸留液を乾かして固めたもの。強力な収斂作用がある。止血・止瀉薬。⁽³⁷⁾

(47) (75) (92) ハルサムヘイリウ → balsem peru

中南米原産。含油樹脂。去痰薬。気管支炎・肺炎腫の治療に用いる。⁽³⁸⁾

(48) (76) マ、クエレキシユル → elixer

Maag elixer. Maagは「胃」、elixerは「エリキシル(甘味剤や芳香剤を加えて飲みやすくした、アルコールを含む内服液剤)」。健胃漿。

(88) — → medicijn flesjes

medicijnは「薬」、flesje (-s) は「瓶」のこと。日本側の訳例としては「薬瓶」「小瓶」「硝子小瓶」などがある。⁽³⁹⁾

(89) — → galon

galonは「(金銀の) 飾り [打ち] ひも、モール」のこと。日本側の訳例としては「笹縁り」がある。⁽⁴⁰⁾

(90) — → nacht lampjes

nacht lampje (-s) は「ナイトランプ」のこと。

(91) (101) (113) (119) (131) (158) キナキナ → kina, kinabast, kina bast, gewone kina bast, bast van kina / beste kwaliteit /, gemeene kina

kinaは「キナ皮、キナの木」、bastは「樹皮」、gewone, gemeeneは「普通の、並の」の意。beste kwaliteitは「最高品質」の意。キナはアカネ科の常緑高木。ペルー・ボリビアなどアンデス山地原産の薬用植物。その樹皮から解熱薬、特にマラリア熱の特効薬キニーネquinineその他のアルカロイドを採る。また樹皮のアルコール浸出液を蒸散してエキスをつくり、健

胃・強壯薬にした。キニーネを「quina quina」といい、化政期以降、輸入例が多い。マラリヤ(瘧)だけでなく一般解熱にも用いた。⁽⁴¹⁾

(93) テーゲハルサム → Rigasche balsem

Rigascheは「リガ(現ラトビア共和国の首都)の」、balsemは「バルサム(芳香性樹脂)」のこと。

(98) — → diversche kelkjes

diverscheは「種々の」、kelkje (-s) は「コップ」のこと。日本側の訳例としては「こつぷ」「臺こつぷ」などがある。⁽⁴²⁾

(100) アラヒヤゴン → Arabische gom

Arabische gom (アラビアゴム) は、マメ科の高木アラビアゴムノキの分泌する樹脂を固まらせたもの。肉豆蔻油・オリーブ油などの薬用油、龍腦、麝香など油性のものを薬剤とするばあい、これらを溶かすのに用いるアラビアゴム漿(その細末に沸湯を加えて研和した膠質溶液)をつくる。⁽⁴³⁾

(102) — → geslepe kompottes

geslepeは「カットされた」、kompotte (-s) は「コンポート(菓子・果物用の足付きの盛り皿)」のこと。日本側の訳例としては「菓子入」「硝子菓子入」「切子井」「蓋物」「硝子臺附菓子入」などがある。⁽⁴⁴⁾

(103) 廣東人參 → genzing wortel

genzingsingは「治療」、wortelは「ニンジン」の意。廣東人參は、はじめフランス船、後にはアメリカ船、イギリス船が中国広東に輸入し、その後、長崎に輸入されたカナダ産の人參。中国産人參と同属近縁のものであり、薬用(胃の薬)に使用された。⁽⁴⁵⁾

(104) カミルレ 但野菊之花 → —

カミルレは、キク科の1・2年草カモミルラchamomilla Romanaの花を乾燥したもので、発汗・解熱薬とされた。オランダ人はこの草をkamilleといった。⁽⁴⁶⁾

(106) コムアムモニヤク → —

gom ammoniak。ペルシア・インド地方に自生するセリ科の植物アンモニア樹が分泌するゴム性の樹脂。前出アラビアゴムと同じく油性の薬物を溶融するのに用いる。このゴム漿に龍腦を加えて攪拌し、キナ煎を加えて投薬すれば、血液腐敗に進む病状を防止するのに殊効があるとしている。⁽⁴⁷⁾

(109) (151) — → theeservies, theeserviesen

theeservies (-en) は「茶器セット」のこと。日本側の訳例としては「茶器」「硝子器」などがある。⁽⁴⁸⁾

(110) — → defecte glazen kroonen

defecteは「欠陥のある」、glazen kroonenは「ガラス製のシャンデリア」のこと。

(116) (157) — → aardewerk

aardewerkは「陶器」のこと。日本側の訳例としては「焼物類」がある。⁽⁴⁹⁾

(120) (133) カヤフーテ油 → *cajapoetie olij, kajjae poetie olie*

カヤフーテ (*cajapoetie, kajjae poetie*) はテンニン科の高木。マライ語で「白い木」の意。その蒸留油は胃痙攣・胃痛に偉効がる。モルッカ群島中のバンダ島産が名品であった。⁽⁵⁰⁾

(134) — → *glaswerk / zijnde kelkjes / alsmede eenig aardewerk en diverse*

本品は「コップといった硝子器類、その上いくつかの焼物類と各種雑多なもの」の意。

(145) — → *kristalle kompottes*

*kristalle*は「クリスタルガラス製の」、*kompotte (-s)*は上述。日本側の訳例としては「菓子入」がある。⁽⁵¹⁾

(146) — → *kristalle kelkjes*

kristalle, kelkje (-s) 共に上述。日本側の訳例としては「臺こつふ」がある。⁽⁵²⁾

(147) — → *geslepe karaffen*

*geslepe*は上述。*karaf (-fen)*は「水差し、デカンタ」のこと。日本側の訳例としては「酢醬油入」「銘酒瓶」「硝子瓶」「切子瓶」「瓶」などがある。⁽⁵³⁾

(168) — → *laurier drop*

*laurier*は「ゲッケイジュ」、*drop*は「甘草エキス入りのキャンディー」のこと。月桂樹のキャンディー。

(170) — → *dracken bloed*

キリン血。上述参照。

おわりに

以上、本稿においては、文政9年(1826)を事例として脇荷貿易で取引された商品(脇荷物)について考察をおこなってきた。

文政9年の場合、史料的に脇荷物各商品の仕入値の全容は未詳であるため、その詳細をつかむことはできない。しかし、シーボルトP. F. von SieboldとフィレネウフェC. H. de Villeneuveの脇荷物に関しては、それぞれの脇荷リストに仕入値が記されているため、両人の脇荷物に関してのみその仕入値と日本商人への売値(日本商人落札価格)を比較検討することが可能である。両人の各商品の仕入値と売値を一覧表にして示すと表3のようになる。この表からわかるように、シーボルトの脇荷物で「キナキナ」と「カヤフーテ油」は売値は付いたが「不賣」となっている。仕入値に対して売値が低かったことがその原因であることは間違いあるまい。「カヤフーテ油」にいたっては売値が仕入値より低い価格となっている。それに対して、シーボルトの脇荷物中の金唐皮(尺長)に低い売値がついているにもかかわらず販売されているが、恐らく質的にあまり良くないものであったためと考えられる。その他の品々は仕入値の3.4~7.7倍で販売されている。当時の脇荷取

引では35%の税が課せられていたことよりこの倍率で販売されなければ売り主にとって当然収益にはつながらなかったであろう。⁽⁵⁴⁾

オランダ側史料で売り主が自分の商品から「取り出し」を願いでており、これを日本側史料で「紅毛人」「除キ」としてそれぞれの数量が記入されているが、果たしてこの「取り出し」された後どのような扱いがされたのであろうか。別ルートでの販売も予想されるところであるが、史料的問題より今後の課題として考えていきたい。

文政9年の脇荷物の種類は、例えば、前年の文政8年(1825)輸入の脇荷物(表4)と共通しており、⁽⁵⁵⁾当時の脇荷物としての特色を備えていた品々といえることができる。すなわち、薬品類、ガラス器・陶器・磁器などの食器類、皮革・酒・顔料・時計等々、雑貨・小間物類からなっている。これらは、本方荷物にはみられない品々である一方、詠物と共通する品が多く含まれている。脇荷物における多くの薬品類と、詠物における薬品・書籍・武器類⁽⁵⁶⁾は、当時の蘭学興隆の面からみると、文化史上、大変重要な取引の品々といえるのである。

本稿は、オランダ船が持ち渡った脇荷物に関して、日蘭両史料の照合という点において数少ない事例となる。しかし、日蘭両側の商品名・数量が揃ってはじめてこの分野の研究も緒につくものと思われる。

註

- (1) 山脇悌二郎「脇荷貿易雑考」(箭内健次編『鎖国日本と国際交流』下巻、吉川弘文館、昭和63年)参照。
- (2) この点については、オランダ国立中央文書館(Nationaal Archief)に所蔵されている日本商館文書に限定してのことである。なお、永積氏が研究されている1827~29年の個人貿易協会の脇荷貿易をめぐる史料については他年度に比べて充実している。(永積洋子「オランダ商館の脇荷貿易について—商館長メイランの設立した個人貿易協会(1826-1830)—」『日本歴史』第379号、昭和54年、参照。)
- (3) 永積洋子「オランダ商館の脇荷貿易について—商館長メイランの設立した個人貿易協会(1826-1830)—」参照。
- (4) *Aangebregte particuliere kambang goederen. Japan A° 1826. [Japan Portefeuille N° 27. 1829a-b] MS.N.A. Japans Archief, nr.1450 (K.A.11803) . (Tōdai-Shiryō Microfilm : 6998-1-81-14) . 本史料は、長崎商館文書の1826年の史料群 [Japan Portefeuille N° 24. 1826]ではなく、1829年の史料群 [Japan Portefeuille N° 27. 1829a-b]に含まれていることより、個人貿易協会にとっての参考資料として残された可能性があることを指摘しておきたい。*
- (5) 「取り出し」を願うリストの表題はさまざまであるが、

表3 文政9年(1826)のシーボルトとフィレネウフェの脇荷物仕入値と売値

| 商 品 名 | 仕 入 値 | 売 値 | 売 値 仕入値 |
|------------------------------|--|---|---------------------------------|
| シーボルトの脇荷物 saffraan サフラン | 1斤に付158匁6分4厘 〔換算：1ポントに付21グールドン(=13.125カンパントール) 1斤に付15.864カンパントール(=158匁6分4厘)〕 | 1斤に付720匁 | 4.5 |
| goudleer 金唐皮 | 1枚に付12匁5分 〔換算：1枚に付2グールドン(=1.25カンパントール=12匁5分)〕 | 1枚に付(壺番)70匁 1枚に付(貳番)74匁6分 1枚に付(三番)66匁9分 1枚に付(尺長)22匁3分8厘 1斤に付38匁7分(不覆) | 5.6 6.0 5.4 1.8 2.6 |
| kinabast キナキナ | 1斤に付15匁1分 〔換算：1ポントに付2グールドン(=1.25カンパントール) 1斤に付1.51カンパントール(=15匁1分)〕 | | |
| cajapoetie olij カヤプーテ油 | 1ふらすこに付62匁5分 〔換算：1ふらすこに付10グールドン(=6.25カンパントール=62匁5分)〕 | 1ふらすこに付41匁9分(不覆) | 0.7 |
| フィレネウフェの脇荷物 saffraan サフラン | 1斤に付188匁8分6厘 〔換算：1ポントに付25グールドン(=15.625カンパントール) 1斤に付18.886カンパントール(=188匁8分6厘)〕 | 1斤に付713匁 | 3.8 |
| goudleer 金唐皮 | 1枚に付12匁5分 〔換算：1枚に付2グールドン(=1.25カンパントール=12匁5分)〕 | 1枚に付(壺番)95匁9分 1枚に付(貳番)69匁8分 1枚に付(三番)43匁 1斤に付105匁1分 | 7.7 5.6 3.4 4.6 |
| kreeftsoogen ヲクリカンキリ | 1斤に付22匁6分6厘 〔換算：1ポントに付3グールドン(=1.875カンパントール) 1斤に付2.266カンパントール(=22匁6分6厘)〕 | | |
| kina bast キナキナ | 1斤に付15匁1分 〔換算：1ポントに付2グールドン(=1.25カンパントール) 1斤に付1.51カンパントール(=15匁1分)〕 | 1斤に付58匁 | 3.8 |

註：1.6グールドン=1カンパントール=脇荷銀10匁
1ポント=0.8273斤

ここでは、筆者頭兼簿記役のアウトレーンP. van Outerenと、荷蔵役のフィッシャーJ. F. van Overmeer Fisscherのリストを挙げておく。

・アウトレーンのリストの表題：Nota der goederen, welke de ondergeteekende als nog wenschten te ligten uit het kambang pakhuis. (下記署名者(私)がカンパン〔脇荷〕倉庫からさらに取り出したい品物の覚書。)

・フィッシャーのリストの表題：De ondervolgende artikelen wenschte ik van mijne goederen inde Lelij 't huis te hebben. (私は、下記商品を〔倉庫〕レリーの私の品物の中から〔出島の私の〕家に持って行くことを望みます。)

- (6) 山脇悌二郎『近世日本の医薬文化』(平凡社、平成7年)(以下、『医薬文化』と略記)142頁・183~198頁参照。山脇悌二郎「スタト・ティール号の積荷—江戸時代後期における出島貿易品の研究—」(『長崎談叢』第49輯、昭和45年)(以下、『スタト』と略記)22頁参照。山脇悌二郎『長崎のオランダ商館』(中央公論社、昭和55年)(以下、『オランダ商館』と略記)173頁参照。「遠西醫方名物考」(〈原文篇〉『近世歴史資料集成』第V期、科学書院、平成20年)(以下、『名物考』と略記)358~359頁参照。
- (7) 『医薬文化』147頁参照。『スタト』24頁参照。『名物考』520頁参照。『和蘭薬鏡』(科学書院、昭和63年)1001~1010頁参照。

- (8) 『医薬文化』139頁参照。『スタト』17頁参照。清水藤太郎「薬物需給史」(『明治前日本薬物学史』第1巻、昭和32年)(以下、『薬物』と略記)221頁参照。
- (9) 『オランダ商館』88~90頁参照。
- (10) 『医薬文化』145・152頁参照。『スタト』17・20頁参照。『名物考』120頁参照。
- (11) 『おらんだのたのしみ方』(たばこと塩の博物館、平成20年)8頁参照。
- (12) 拙著『日蘭貿易の構造と展開』(吉川弘文館、平成21年)(以下、『構造と展開』と略記)387頁参照。
- (13) 『薬物』222頁参照。『名物考』76~78頁参照。
- (14) 『医薬文化』157頁参照。『スタト』25頁参照。『名物考』155~161頁参照。
- (15) 『医薬文化』138頁参照。『スタト』23頁参照。
- (16) 『構造と展開』377頁参照。
- (17) 『構造と展開』306~310頁参照。Lijst der eisch goederen van 1835. [Japan Portefeuille N° 33. 1835] MS.N.A. Japans Archief, nr.1456 (K.A.11809) . (Tōdai-Shiryō Microfilm : 6998-1-85-6) .
- (18) 『構造と展開』386頁参照。
- (19) 『構造と展開』349頁参照。
- (20) 『構造と展開』403頁参照。
- (21) 『オランダ商館』74頁参照。『医薬文化』119頁参照。

近世後期におけるオランダ船の脇荷物輸入について

- 『和蘭薬鏡』1164頁参照。
- (22) 『スタト』27頁参照。
- (23) 『構造と展開』54頁参照。
- (24) 『医薬文化』148頁参照。
- (25) 『日本国語大辞典』第19巻（小学館、昭和51年）471頁参照。『和蘭薬鏡』1128頁参照。
- (26) 『構造と展開』362頁参照。
- (27) 宮下三郎『長崎貿易と大阪－輸入から創業へ－』（清文堂、平成9年）302頁参照。
- (28) 『オランダ商館』82頁参照。
- (29) 『医薬文化』56・156頁参照。『名物考』58～61頁参照。
- (30) 『医薬文化』129頁参照。『名物考』338～348頁参照。
- (31) 『世界薬用植物百科事典』（誠文堂新光社、平成12年）（以下、『薬用植物』と略記）224～225頁参照。『名物考』244～245頁参照。
- (32) 『医薬文化』194頁参照。『名物考』217～224頁参照。
- (33) 『医薬文化』145～146頁参照。『名物考』120～125頁参照。
- (34) 『医薬文化』155頁参照。
- (35) 『スタト』23頁参照。
- (36) 『薬物』221頁参照。『名物考』301頁参照。
- (37) 『医薬文化』71頁参照。
- (38) 『薬用植物』236頁参照。『名物考』61～62頁参照。
- (39) 『構造と展開』379頁参照。
- (40) 『構造と展開』363頁・402～403頁参照。
- (41) 『医薬文化』146頁参照。『スタト』16頁参照。
- (42) 『構造と展開』372頁参照。
- (43) 『医薬文化』33～34頁参照。『スタト』17頁参照。
- (44) 『構造と展開』374頁参照。
- (45) 『医薬文化』220頁参照。
- (46) 『医薬文化』108・145頁参照。『スタト』19頁参照。『名物考』163～165頁参照。
- (47) 『スタト』18頁参照。『名物考』353～354頁参照。
- (48) 『構造と展開』395頁参照。
- (49) 『構造と展開』345頁参照。
- (50) 『医薬文化』156頁参照。『スタト』25頁参照。
- (51) 『構造と展開』374頁参照。
- (52) 『構造と展開』374頁参照。
- (53) 『構造と展開』372頁参照。
- (54) 「長崎会所五冊物」（『長崎県史』史料編第四、吉川弘文館、昭和40年）166頁参照。
- (55) 表4のA史料「文政八年 西年阿蘭陀船向々様御訃并本方脇荷差出し帳」（長崎歴史文化博物館所蔵）・B史料「〔西年 蘭船乗船員人数・風説書・積荷目録〕」（古河歴史博物館所蔵鷹見家資料）共に、文政8年の「積荷目録」（オランダ側が提出した送り状を阿蘭陀通詞が翻訳したリスト）であるが、A史料は、現地長崎に残った実務史料であり、B史料は、長崎奉行より幕府に呈上された文書の写しである。

すなわち、A史料がB史料の前段階の史料と考えられる。（拙著『日蘭貿易の史的研究』吉川弘文館、平成16年、45～48頁参照）

- (56) 『構造と展開』参照。

[付記] 本稿のオランダ語表記については、長崎大学非常勤講師のイサベル・田中・ファンダーレン氏に校閲頂きました。記して深甚なる謝意を表します。